

本市における今後のまちづくりにおいて重視する視点等の整理

「まちづくりにおいて踏まえるべき社会潮流と本市の現状等」及び「これからの総合計画が備えるべき要件」に関する議論を踏まえ、次の事項について考え方を整理する。

1 本市における今後のまちづくりにおいて重視する視点

本市における今後のまちづくりにおいて重視する視点は何か

- ・基礎自治体として自主・自律の行政運営を持続する。
歳入規模に基づく歳出構造（事業展開）の実現に向け、行財政改革を継続。
- ・財政規律を維持しつつも、今日的な課題に対応し、将来都市像に向けた考え方を示す。
尼崎市の地域特性を活かすとともに、施策目標の明確化と施策の重点化を図る。
- ・地域における自助・共助の機能を高め、互いに支えあえるコミュニティづくりに取り組む。
行政・市民・事業者等の各主体それぞれが果たすべき役割を整理するよう努める。

“あまがさき”行財政構造改革推進プランでは、財政基盤の確立と住民自治基盤の確立に向けた取組を進めているとともに、「施策の重点化方向」として5つの柱を定めている。

2 総合計画の目的と役割

これからの総合計画にはどのようなことが記述され、どう使われるべきか

- ・市民にとって分かりやすく、職員にとって使いやすい計画とする。
- ・行財政改革や今後の財政見通し等を十分考慮した計画内容とする。
- ・「行政の計画」というイメージが強かったこれまでの計画から、より「市民、事業者、行政等の各主体がともにまちづくりを進めていく上での基本となる計画」となるよう努める。

3 現総合計画について

現基本構想及び第2次基本計画の改定の要否等についての考え方を整理する。

- ・現基本構想について（基本構想の期間は平成 37 年（2025 年）まで）
- ・第 2 次基本計画について（第 2 次基本計画の計画期間は平成 22 年度まで）